

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所りんりん		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 2日		～ 令和6年 12月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者が安心して通うことができている	・利用の様子を毎回LINEにて写真を送り、送迎時やお迎え時に様子をお話する等保護者の方にご利用の様子を具体的にお伝えできるようにしている。	・今後も変わらず継続し、相談や申し入れに対して適切なアドバイスができるよう職員のスキルアップに努める。
2	・職員間での連携が取れ、チーム支援が来ている。	・活動プログラムの立案は毎月必ずチームで行い、意見を出し合っている。 ・支援前に打ち合わせをし、その日のうちに振り返りを行っている。	・今後も変わらず継続し、よりよりチーム支援を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・各種マニュアルや安全管理に対する保護者への周知が不十分である。	・保護者に分かる説明が出来ていない。	・各種マニュアルや安全対策についての取り組みは契約時にしっかりと説明をし、研修や訓練の様子はお便りやSNS等を活用し発信していく。
2	・保育所や認定子ども園、幼稚園等と交流する機会がない。	・どのように交流したらいいのかわからない状況にある。	・児童発達支援センター等他事業所での取り組みをお聞きし、事業所で出来ることを検討していく。 ・園との交流は難しいが、積極的に園外に出かけ、地域の中で他の子どもと交流できる機会を作っていく。
3			